

答えとてびき

算数 5年



6 合同な図形

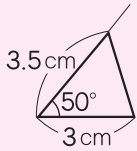
ぴったり 3 確かめのテスト

てびき

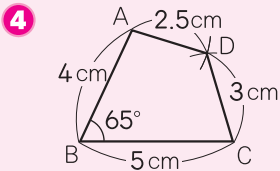
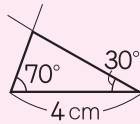
- 1 ①頂点F ②辺DE ③角E

- 2 ①三角形CDA ②三角形CDB
③三角形CDE

- 3 ①(例)



- ②(例)



- 5 ①110° ②50° ③65° ④100°

- 6 ①70° ②70° ③140°

- 7 720°

- 1 ②頂点Aに対応するのは頂点D、頂点Bに対応するのは頂点Eだから、辺ABに対応するのは辺DEです。

- 2 ③点Eを中心にして平行四辺形をまわすと、三角形ABEと三角形CDEは重なります。

- 3 次のようにしてかきます。

- ①⑦3 cmの辺をかきます。

①⑦の1つのはしから、50°の角をかきます。

②①の直線で、頂点から3.5 cmの点をとります。

③②の点と⑦のもう一方のはしを結びます。

- ②⑧4 cmの辺をかきます。

①⑧の1つのはしから、70°の角をかきます。

②⑧のもう一方のはしから、30°の角をかきます。

③①と⑧の交った点が3つ目の頂点です。

- 4 まず、三角形ABCをかきます。

頂点Aから半径2.5 cmの円をかき、頂点Cから半径3 cmの円をかき、その交った点をDとします。点Aと点D、点Cと点Dを結びます。

- 5 ① $180^\circ - (40^\circ + 30^\circ) = 110^\circ$

②この三角形は二等辺三角形なので、①の角の大きさは65°になります。

$$180^\circ - 65^\circ \times 2 = 50^\circ$$

③まず①の角の大きさを求めます。

$$180^\circ - (20^\circ + 45^\circ) = 115^\circ$$

①と③の角の大きさをたすと180°になるから、

②の角の大きさを求めるには、180°から①の角の大きさをひきます。

$$180^\circ - 115^\circ = 65^\circ$$

$$\text{④ } 360^\circ - (80^\circ + 115^\circ + 65^\circ) = 100^\circ$$

- 6 ①三角形ABDは二等辺三角形なので、

$$(180^\circ - 40^\circ) \div 2 = 70^\circ$$

②ひし形の辺の長さはすべて等しく、向かいあう角の大きさも等しいので、

$$(180^\circ - 40^\circ) \div 2 = 70^\circ$$

$$\text{③ } 180^\circ - 40^\circ = 140^\circ$$

- 7 六角形は、右の図のように4つの三角形に分けられるので、

$$180^\circ \times 4 = 720^\circ$$

